

街を行く

第26回 吉祥寺 Kichijoji

井の頭公園はいいね

今回は東京のベッドタウンをみてみようとして吉祥寺を訪ねました。ここはリーズナブルな店が多いので、学生時代はよくウロウロしていた街です。社会人になってからはすっかりご無沙汰でしたが、最近、不動産ファンドが大手家電量販店ビルをJ-REITへ売却したこともあって再びこの街に注目、久しぶりに歩いてみようかという気になったわけです。

訪れると、何より人が多いことに驚きました。平日昼間でも商店街が人で賑わい、ところどころに長蛇の列も。「今日は休日だったか？」と疑うほどでした。一番のポイントは井の頭公園でしょう。賑わいある商店街と落ち着いた雰囲気のある公園があることで吉祥寺は、平日と休日、生活のオン・オフとも楽しめる街になっている。これがベッドタウンでありながら、多くの来街者も吸い寄せている要因になっています。ベッドタウンは経済の拡大期にマイホームを持ちたい人の増加とともに現れ、人口集積の中心部から郊外にドーナツ型の輪を描くように形成されていきます。ひと頃はマイホームで暮らすことに労をいとわないう人が多く、1時間半の通勤時間がかかる場所でも成り立ちました。わが家を持つことの夢はとてよく解ります。ただ、多くのベッドタウンを見渡しくみれば、マンションや戸建て分譲地と、なんの変哲も無い駅前商店街ばかりで個性の無い街ばかり。1時間半もかけ通勤する価値が果たしてあるものかどうか、疑問を持つのは小生だけではないはず。

その点、ここ吉祥寺は関東圏の中でも、群を抜いて住みやすい個性のある街と言



公園の散歩を毎日の日課にしたいなら、吉祥寺に住むのがよいでしょう

えます。また、商業地はある程度繁栄していますが、オフィス街として役割を果たしているとは言いがたい。都市には至っていませんが、街としては合格でしょう。

それにしても、井の頭公園は今が紅葉の真っ盛り。歩いていると最高に気分がよいですよ。公園の散歩を毎日の日課にしたいなら、この街に住むのがよいでしょう。個人的なことですが青春時代に観たテレビドラマ「俺たちの旅」のシーンが浮かんで来ました。主人公の三人がこの公園の橋でふざけあっている光景が目には焼きついているのです。これまで連載で取り上げてきた街と比べて、吉祥寺をかなり高く評価しているの、鼻屑にしていると思われる方もいるかもしれません。それも事実です。が、元来ポジティブな人間なので、ほめる時にはほめますよ。今回のような街を訪ね、このような記事を書き続けたいところ

ですが、どうなることでしょうか？ 近く年も改まる事ですから少し考えてみます。折角来たので、名物の焼鳥屋に寄って、もう少し余韻にひたろうと思います。

南 一弘



1982年大学卒業後、三井不動産販売に入社。ローンスター・ジャパン・アクイジションズを経て、2001年エートス・ジャパン・エルエルシーを設立。同代表に就任。2005年4月MID都市開発(旧松下興産)の代表取締役役に就任。2006年株式会社ジャパン・アセット・アドバイザーズを設立。同代表取締役役に就任。

BLOG「南一弘の負けない不動産投資」
http://blog.livedoor.jp/minami_kazuhiro